



2024年度

青雲会 会報

Anniversary

大阪大学法学部創立70周年

同高等司法研究科創立20周年

同法学部同窓会青雲会 創立70周年

2024年度 青雲会総会のご案内

▶ 講演会のテーマ

「激震の国際情勢と日本の針路」

【講師】 藪中 三十二氏 (18期)



大阪大学特任教授、
グローバル寺子屋「藪中塾」主宰
やぶなか みとし
藪中 三十二氏

<略歴>

1948年大阪府生まれ。1969年外務省入省、韓国、インドネシア、米国在勤の後、北米第二課長(日米経済摩擦担当)、国際戦略問題研究所主任研究員(ロンドンIISS)、ジュネーブ代表部公使、外務本省総務課長、アジア局審議官を経て、在シカゴ総領事。2002年よりアジア大洋州局長(六者協議首席代表)、外務審議官(経済担当・G8サミット・シェルバ)、外務審議官(政務担当)を経て、2008年に外務事務次官。2010年外務省退官後、外務省顧問、立命館大学客員教授など歴任。現在、大阪大学特任教授。また、「グローバル寺子屋藪中塾」を主宰。

著書に『現実主義の避戦論』『外交交渉40年・藪中三十二回顧録』『対米経済交渉』『国家の命運』『日本の針路』『世界に負けない日本』『トランプ時代の日米新ルール』『核と戦争のリスク(共著)』『世界基準の交渉術』

▶ 日 時

2024年7月20日(土)
午前10:30開会

10時30分~11時15分 総会
11時20分~12時20分 講演会
12時30分~14時30分 懇親会

▶ 会 費

一般 **10,000円**

卒業後5年以内:4,000円
学生(未入会):2,000円
学生(入会済):1,000円

ご出席の方は、会費の**前納**をもって
申込みとさせていただきます。

同封の払込み用紙をご利用ください。

または、青雲会ホームページ会員専用サイトで
クレジットカード払いもご利用いただけます。

■払込み期限
6月21日(金) [必着]

▶ 会 場

大阪新阪急ホテル 紫の間

(総会議事・講演会・懇親会)
〒530-8310

大阪市北区芝田1-1-35
TEL 06-6372-6510

JR「大阪」、阪急「大阪梅田」、
大阪メトロ(地下鉄)「梅田」
駅から徒歩すぐ

TEL 06-6372-5101
(ホテル代表)



2024年4月26日

編集・発行

青雲会(大阪大学法学部同窓会)
会長 福田 健次

事務局

〒560-0043 豊中市待兼山町1-6
大阪大学大学院法学研究科内
TEL&FAX. 06-6850-5198
E-mail ishibashi@seiunkai.net
https://www.seiunkai.net/



青雲会ホームページ

青雲会会長 ご挨拶

二年目を迎えて

慣れない青雲会会長職も二年目を迎えました。

青雲会の活動に積極的にご理解とご支援をいただいている会員の皆様そして副会長の皆様には「感謝申し上げます」のひとことです。

一年目に「何をやったんや」「何もしてないやないか」とご批判を受けることを承知の上で、今後に向けてひとことご挨拶申し上げます。

まず、今年度は、法学部創立70周年、高等司法研究科創立20周年、青雲会創立70周年を記念して、法学部とつながりをもって、豊中キャンパスの主要教室に録画配信システムを設置することとしました。「青雲会70周年記念教室」と名付けていただくことになっているのですが、この事業にあたり、再び、皆様からご寄附をお願いすることになりました。無理無理なお願いであることは十分承知しておりますが、ぜひ後輩のため、また青雲会の絆を感じていただく一助となることから、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次に、青雲会組織強化のためのご提案がございます。私は、恥ずかしながら、これまで青雲会の活動には全くと言っていいほど顔を出してきませんでした。一年間の会長職を経て、青雲会の活動がほんの一部の会員のすごい熱量によって支えられていることを痛感いたしました。東京支部や名古屋支部の活動、青雲塾や若手交流会、同好会といった活動にぜひ一人でも多くの会員の方に参加していただきたいのです。参加しやすくするためには、青雲会の組織を強化することが必要だという観点からの改革案を議論しています。入会金や年会費の見直しをして、会費を支払っていただける「生きた会員」を増加させることができないか、高等司法研究科からの会員獲得にいい方法はないか、SNSの導入や活用方法はないかなどです。会員の皆様からのさまざまなお知恵をいただければありがたいですので、ぜひご意見をお寄せ下さい。

これまで青雲会に対して何らの寄与ができなかった私にとりまして、恩返しのための大切な会長二年目の一年間です。会員の皆様のより一層のご理解とご支援を賜りますよう重ねてよろしくようお願い申し上げます。



会長 福田 健次 (29期)

青雲会名誉会長 ご挨拶



大阪大学大学院法学研究科長
大阪大学法学部長

武田 邦宣

法学研究科長・法学部長を務めております武田邦宣です。青雲会会員の皆様には、日頃より法学研究科・法学部の諸活動にお力添えを賜りまして、誠に有難うございます。

この1年、青雲会の様々な活動を通じて同窓生の力を感じることができましたが、とりわけ名古屋支部また東京支部主催の会合にて全国で活躍される会員のお話を直接にお聞きできたことが、強く印象に残っております。先輩諸兄弟のご活躍は法学部の大きな財産であって、引き続き、在学生の皆さんに対して、積極的に青雲会のネットワークに参加して、そのネットワークを活かすよう勧めたいと思っております。

今年、法学部創立70周年、そして青雲会創立70周年を迎えることとなります。法学部と青雲会とのつながりをさらに強化するべく記念となる事業を計画しております。青雲会会員の皆様におかれましては、在学生会員への温かいご指導、また周年記念事業への力強いご支援を賜れば幸いに存じます。

国際公共政策学科長 ご挨拶

昨年4月に大学院国際公共政策研究科長および法学部国際公共政策学科長に就任いたしました。青雲懸賞論文、種々のキャリア支援、さらには青雲塾の開催等、青雲会の皆様にはいつもご支援を賜り、あらためて深く感謝申し上げます。

国際公共政策学科は2008年4月に開設され、2024年度入学の学生が第17期生となります。国際公共政策学科では法学、政治学、経済学を横断する学際的なかたちで、卒業後も官民間問わず、また一部大学院に進んだ者にも糧となる根源的な、そして同時に最前線の学知を提供しております。既に卒業した第13期生までは、その経験を存分に活かし、国内外で大いに活躍しております。卒業後も生かせる不易流行の知の提供こそ、大学教育の使命だと実感している次第です。

国際公共政策学科には国際舞台で活躍したいという意欲の高い学生が多く、留学や現地での体験を希望して毎年多くが海外に渡航して参りました。しかしながら、コロナ禍の下、学生たちは海外に出ることがままならず、厳しい状態が続いておりました。昨年度からはそうした状況もおおむね収まり、円安等、海外への渡航や留学には別のハードルが生じておりますが、元に戻ってきております。学生時代の貴重な学びの時間を無駄にしないよう、オンライン等でも海外との交流を深める努力も継続していく所存です。

今後も新たな挑戦を厭わず、学生の能力を引き出す教育を行って参りますので、青雲会の皆様には引き続き何卒宜しくご支援賜れば幸いです。



国際公共政策学科長
中嶋 啓雄

高等司法研究科長 ご挨拶

今春から2期目の高等司法研究科長業務を遂行しております。1期目の2年間は、不慣れな管理業務にあくせくするばかりで、青雲会の皆さまからの温かいご支援に甘えるばかりでした。お詫びかたがた心よりお礼申し上げます。過去の反省を踏まえ、マネジメントの質の向上を図りますので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

法曹養成を使命とする法科大学院として設立された高等司法研究科は、今年、創設20周年を迎えます。「新時代を担う、真のLegal Professionalsの育成」を教育理念に掲げ、法曹養成に特化した専門職大学院として、本研究科は、学内外で一定の評価を獲得してきたものの、「司法試験という『点』のみによる選抜ではなく、法学教育、司法試験、司法修習を有機的に連携させた『プロセス』としての法曹養成」という構想の実現に向けて、なお具体化の途上にあります。新たに始まった司法試験在学中受験への対応や法学部法曹コースとの連携など、取り組まなければならない課題は目白押しです。

しかし、この20年の成果に目覚ましいものがあることもまた事実であって、そのことは1,400人を超える修了生の活躍ぶりをご覧いただければ、すぐに理解していただけるものと自負しております。創設20周年という区切りを見据えつつ、青雲会の皆さまのご期待にも応えながら、課題の取組みに向けてなお一層の努力をいたします。変わらぬご支援のほど重ねてお願い申し上げます。



高等司法研究科長
松本 和彦(36期)



就活懇談会風景



合格祝賀会風景

大阪大学法曹会

大阪大学法曹会は大阪大学を卒業して司法試験に合格した方と大学教員で構成されています。会員相互の資質向上と親睦を図り、さらに高等司法研究科学生に対して支援を行っています。

近年の司法試験は受験者数も合格者数ともに減少してきています。このような状況下でも受験生の努力や法曹会会員弁護士との支援等によって令和5年度は高等司法研究科からは78名の合格者、また法学部を卒業され消息が分かっている方だけでも17名の合格者を出しました。

2023年12月7日には大阪弁護士会館にて就活懇談会、合格祝賀会を久しぶりに例年通りに開催しましたところ、過去最高と思われるような多くの合格者や会員が集いました。

現在、法曹会では高等司法研究科後援基金を通じて下記の支援を行っています。

1. 法律文書錬成講座・・・弁護士アドバイザーによる法律文書の書き方指導
2. 修了生勉強会・・・未合格修了生に対する弁護士講師のグループ指導
3. 必要資金の援助・・・成績優秀者表彰、中野賞授与
4. 合格者に対する就職活動懇談会・・・2023年度は46名の合格者が参加

2023年度 総会報告

日時 2023年7月15日(土)10時30分開会
場所 大阪新阪急ホテル「紫の間」
講演 テーマ「大阪大学の現状と課題」
講師 大阪大学名誉教授・微研財団特任顧問
 三成 賢次氏 (28期)

2023年度の青雲会総会は、4年ぶりの開催となった懇親パーティーを含め、7月15日に大阪新阪急ホテルにて開催されました。当日は、ご来賓の田中茂樹名誉教授をはじめ、武田邦宣法学部長、中嶋啓雄国際公共政策学科長、松本和彦高等司法研究科長ほか多数の現職教員のご臨席のもと、参加者71名での開催となりました。

1 総会議事 (10:30-11:35)



福田会長あいさつ

福田健次新会長の開会の挨拶に続き、武田邦宣法学部長の祝辞をいただいたあと、西尾公一前会長からの2022年度会務会計報告に続き会計監査報告がなされ(松本綾会計監事の報告を司会の坂川雄一副会長が代読)、いずれも承認を得ました。次に、2023年度事業計画案および予算案が提出され、いずれも承認を得ました。(詳しくは11ページをご覧ください。)そのあと、新幹事と新役員の紹介があり、高橋慶吉学内幹事より大学の現状についての報告がありました。最後に、大阪大学共創機構の中村麻貴特任研究員より大学への寄付に対してのお礼の言葉が述べられました。



会計報告を拍手で承認

2 講演 (11:40-12:50)

大阪大学理事・副学長をお務めになられた三成賢次名誉教授より、大阪大学の現状と課題について、わかりやすく講演頂きました。

冒頭で、大阪大学は、学生数が大学院生も含めると2万人超、教職員を含めると3万人超の規模を誇っており、予算も1500億円を超えるというお話しをお聞きして、まずはその規模の大きさに驚きました。また、収入のうち国からの交付金が非常に限られており、大学運営は想像以上の自助努力によって成り立っているという点にも驚きがありました。

今後の課題については、まず、国立大学法人としてガバナンスの強化が求められるとともに、いわゆる2040年問題に対応すべく、大学の在り方にも変化が求められているというお話しがありました。また、大学として、若手研究者を如何に育てていくかという大きな課題もあるとのことでした。少子高齢化社会が迫りくる中、大阪大学といえども大きな変化が避けられないと思いますので、これからその変化を注視していければと思います。



講演会講師の三成賢次氏

3 懇親パーティー (13:00-14:30)



乾杯のご発声は5期 的場悠紀さん

5期的場悠紀先輩による乾杯のご発声でスタートした4年ぶりの懇親パーティーは、菅聡一郎幹事(40期)の名司会により進められました。懸賞論文受賞者のご挨拶、東京支部・名古屋支部の活動報告の後は、先輩方からご提供いただいた豪華賞品をかけた恒例のビンゴ大会。菅幹事オリジナルの団体戦ルールに加え、お目当ての賞品かどうかはともかく、参加者全員に何らかの賞品を持ち帰ってもらえる、参加者に優しいビンゴ大会は今年も大好評でした。当初の予定よりパーティーの開始時刻が遅くなり、歓談の時間を十分とることができませんでしたが、久しぶりの懇親パーティーということもあって、大変盛り上がりしました。

最後は、山本茂伸幹事(22期)の音頭による恒例の大阪締めにて、盛会のうちにお開きとなりました。(47期 坂川 雄一)



懇親会の様子

2023年度 青雲懸賞論文受賞者決定

本年度応募件数
 A部門14件
 B部門12件
 合計26件



青雲懸賞論文受賞者の皆さん

2023年度の青雲懸賞論文は、多数の応募の中から以下の7本が優秀論文として選ばれました。受賞者には3月25日の法学部卒業式にて表彰状と賞金が授与されました。また、2024年7月20日(土)開催の青雲会総会にご招待します。本年度も10月に募集を開始する予定ですので在学生の皆さんからのたくさんの応募を期待しています。

★★★ A：法学部門 ★★★

1席

法2年 高橋 隆之介 (たかはし りゅうのすけ)
 「高度化する自動運転における民事責任のあり方
 —自賠法に基づく損害賠償と海外の立法状況を踏まえた
 求償権行使の効性確保に向けた検討—」

2席

法4年 上田 宗一郎 (うえだ そういちろう)
 「同性婚が認められない根拠」

佳作

法2年 古川 昇 (ふるかわ しょう)
 「生成AIによる著作権侵害」

★★★ B：政治学・経済学部門 ★★★

1席

法3年 荻原 龍太 (おぎはら りゅうた)
 「キャンセルカルチャーに関する政治哲学的考察
 —その定義と評価をめぐって—」

2席

公4年 山本 葉月 (やまもと はづき)
 「紛争下の市民社会が和平プロセスに与える影響」

佳作

公4年 栗山 拓海 (くりやま たくみ)
 「New York Timesが重視する紛争は何か」

新人賞

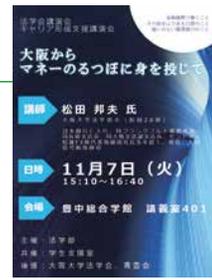
公1年 BUI NHUNG ANH (ブイ ニュン アン)
 「制度作用から考えるASEAN「分裂・分断」の可能性」

青雲キャリア支援基金事業

学生支援室長 松尾 健一

キャリア形成支援講演会

2023年11月7日、本学法学部出身の松田邦夫氏による「大阪からマネーのるつぽに身を投じて」と題する講演会を、青雲キャリア支援事業の一環として開催しました。松田氏は、長く日本銀行に身を置かれ、大阪支店副支店長を務められるなど、金融一筋のキャリアを歩んでこられた方です。そのキャリアを背景として、日銀での豊富なご経験をもとに、金融機関、金融の世界で働くことの意義について、学生にもわかりやすいかたちで話してくださいました。また、悔いのない職場を選ぶために考えなければならないことなどについても具体的に語ってくださり、キャリア形成支援講演会にふさわしいものとなりました。151名の学生が熱心に聞き入っていました。



キャリア支援講演会ポスター

青雲キャリア チャレンジ賞

青雲キャリア支援基金活用事業として、2017年度から、「青雲キャリアチャレンジ賞」を設けています。「青雲キャリアチャレンジ賞」は、在学中に課外で取り組み、キャリア形成に向けて優れた成果を挙げた法学部生を表彰し、副賞を授与して、その成果を称えるとともに、在学中のキャリア形成活動を促進することを狙ったものです。2023年度には7名の学生が受賞しました。3年次で司法試験予備試験に合格し、4年次に司法試験に合格した学生2名をはじめ、比較的早い時期からキャリア形成の意識を高め、着実に計画を実行して成果を収めた学生を表彰することができました。今後も「青雲キャリアチャレンジ賞」にふさわしい学生が多く現れるよう、キャリア形成を支援してまいります。



キャリアチャレンジ賞受賞者の皆さん

若手交流会

若手交流会の活動として昨年度は、座談会とNHK大阪見学会を開催しました。座談会は、OB・OGが学生と親しく、おしゃべり感覚でキャリアについて話す場が少ないという問題意識から、3年前に始めたものです。昨年度は、本学の法学研究科・博士前期課程を2021年度に修了され、現在、経済産業省にお勤めの土川輝さんにお越しいただき、国家公務員の仕事について学生と語り合ってくださいました。座談会の出席者は10名、そのうち半分の5名が座談会後の懇親会にも来てくれました。

高橋 慶吉 (48期)



第5回座談会(7月22日)チラシ



NHK見学会 (11月22日)

NHK大阪見学会は、青雲会幹事の菅聡一郎さん(40期)が企画してくださったものです。9名の自称「若手」が集まり、普段は入ることが難しいNHK内部にまで入らせていただきました。また、NHK勤務の阪大OB・OGと談笑する時間もいただきました。見学会後の居酒屋での交流会も含め、大変貴重で、楽しい企画となりました。なお、NHK大阪見学会については、菅さん執筆のより詳細な報告書が青雲会ホームページに掲載されておりますので、そちらもご覧いただければと思います。

2023年度卒業式・卒業修了祝賀会

2024年3月25日(月)、豊中総合学館にて法学部卒業式があり、法学部法学科より162名、国際公共政策学科より87名、計249名、法学研究科より36名の合計285名が卒業・修了されました。

法学部優秀賞の表彰に続き、2023年度の青雲懸賞論文および青雲キャリアチャレンジ賞の表彰が行われました。各受賞者には青雲会福田会長から表彰状と賞金が授与され、卒業生の皆さんからの温かい拍手をもって祝福をいただきました。

表彰式のあと、会場をL7講義室に移して卒業修了祝賀会が開催されました。今回は久しぶりの立食形式のパーティーとなり、たくさんの卒業生や法学部の先生方に参加していただくことができました。武田法学部長、林先生のあいさつに続き、しばしの和やかな歓談のあと、在学生のテンポよい司会のもと、ビンゴ大会で大いに盛り上がりました。青雲会の正会員となられた卒業生の皆さんの青雲会活動への積極的なご参加をお待ちしています。



卒業祝賀会



青雲塾で再発見!!

青雲塾担当 山西 雅人 (30期)

昨年度の開催内容は以下のとおりです。講師の方からいただいた感想を掲載しております。今後も、会員・準会員の皆様のご参加をお待ちしております。 <https://www.seiunkai.net/kouryu/seiunjuku/list.html>

第78回

2023年7月22日(土)

『Winny』(ウイニー)

壇 俊光氏 (青雲会幹事43期)
弁護士・元Winny弁護団事務局長

今回はWinny事件のお話をさせていただきました。二時間しゃべりっぱなしなのですが、それでも時間は足りなかったです。今回はご年配の方が多かったのですが、サイバー問題というテーマにも関わらず熱心に聞いていただけて大変ありがとうございます。金子さんがこの世を去ってから、もう、10年という月日が経ちました。今回の話を通じて、ときどき、金子勇という栄光なき天才がいたことを思い出していただければうれしい限りです。



映画『Winny』のポスター



壇弁護士 講義の様子

第79回

2024年3月2日(土)

「意外と知らない食品表示の話」

～遺伝子組換え食品、ゲノム編集技術応用食品の巻～

菅 聡一郎氏 (青雲会幹事40期)
弁護士・わかば総合法律事務所

日々悩みながら取り組んでいる食品表示の在り方について、その一端を母校のみなさまに披露する貴重な機会をいただきました。朝早くから熱心にお聴きくださり一緒に考えていただき、大変感謝致しております。

消費者であるみなさまが食品表示に望まれることや実際の食品選択等には、それぞれのお考えがあらうかとは思いますが、私のお話にて、これからのみなさまの食生活にとって少しでも参考にしていただける部分がありましたら大変嬉しく存じます。

面白かったとのありがたいお声も頂戴しました。テーマはまだまだいろいろあります。是非ますますご関心を深めていただき、また情報提供と一緒に考えていただける場を与えていただけたら幸甚です。ありがとうございました。



菅弁護士 講義の様子



会場の大阪大学中之島センター

●● 青雲会囲碁同好会のご案内 ●●

気楽な雰囲気です。点数制でハンディをつけて棋力に関係なく楽しめます。ぜひ参加して、交流や棋力の向上を図ってください。

イベントでは他の同好会などの対局も楽しめるかも。

ご参加の際は幹事に連絡いただくか、当日、受付で青雲会とお伝えください。



定例会(予定)

日時: 令和6年5月18日(土) 13:00~17:00
11月16日(土) 13:00~17:00
令和7年2月15日(土) 13:00~17:00

場所: 梅田囲碁センター

大阪市北区太融寺町6-8 阪急産業梅田ビル5階
席料: 無料(青雲会から補助金が出ています)



イベントにも奮ってご参加ください。
8月(24日予定): トーナメント大会
(梅田囲碁センター、食事会)
(別途、参加費用をいただきます。優勝賞品あり)

連絡先 青雲会囲碁同好会幹事 銭尾 正和(ぜにおまさかず)まで TEL: 080-7035-9285 E-mail: tennohikarihasubetehoshi@hotmail.co.jp

■東京支部だより

東京支部長 西畑 一哉 (27期)



青雲会(大阪大学法学部同窓会)東京支部長の西畑一哉です。1979年3月に法学部を卒業、日本銀行勤務を経て2015年9月から九段にある二松学舎大学に籍を置いております。

東京支部の活動ですが、2023年5月31日の待兼会春季懇話会(青雲会東京支部共催)では、大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社代表取締役清水速水氏から「大阪大学・関西スタートアップエコシステム形成に向けて」との演題でご講演をいただきました。母校の新しい取り組みと進捗ぶりに目を見張る思いでした。

2023年12月16日(土)には、九段の二松学舎大学で、大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)の伊藤武志教授に「共感に基づく『三方よし』の経済社会を共に造る-大阪大学の万博・SDGsへの取り組み-」との演題でご講演いただきました。伊藤先生は、大阪万博資源循環ワーキンググループ委員を兼務されており、大阪万博におけるSDGs理念の具現化等についてお話しいただきました。武田邦宣青雲会名誉会長(法学部長)、福田健次青雲会会長にもご臨席いただき、大阪万博の理念に共感の輪が広がったと思います。

その後の懇親会では、二松学舎大学最上階のレストランで、スカイツリーと東京タワーと大手町のビル群の夜景を眺めながら、4年ぶりの対面での懇親会を行い、大いに盛り上がりました。やはり、対面での会合はオンラインとは違うということを実感した次第です。



東京支部講演会の様子

東京支部 連絡先

〒102-8336
東京都千代田区三番町6番地16
二松学舎大学
TEL 03-3261-1298
FAX 03-3261-1291
支部長 西畑
k-nishih@nishogakusha-u.ac.jp
幹事長 篠崎
mitsuhiro.shinozaki@onoff.ne.jp

■名古屋支部だより

名古屋支部長 中嶋 利幸 (19期)



名古屋地区では東海地方に在住の卒業生を対象に、経済学部同窓会と合同して『名古屋待兼会』を60年以上にわたって運営してきましたが、現在では全学部の卒業生に門戸を広げて活動しています。

会の主な活動は年4回の例会、11月に年次総会で、名古屋市内で食事と懇談を中心として会員の交流を深めるという内容で行っています。コロナ禍により二年ほど休会を余儀なくされましたが、一昨年6月に例会を再開し、それ以降はコロナ感染の波が高まるがあっても感染対策を講じながら活動を続けてきました。昨年の例会で講師(持ち回り)を担当した会員のテーマは、「全国居酒屋巡り」、「面白い仏教」、「名古屋の動植物園いまむかし」でした。11月の総会には来賓として法学部長武田邦宣様をお迎えして、「豊中キャンパスでの学び-法学部教育を中心に」をテーマにご講演を頂き、また大学渉外部門の中村麻貴さんにもご参加頂きました。

就職や転勤等で新しく東海地区に来られる方は年々増えています。そうした方に『名古屋待兼会』という集まりがあることを知って頂き、一緒に楽しく語らう仲間を増やしていきたいと思っています。ご関心がおありの方は是非、右記の連絡先にコンタクト頂きますようお願いいたします。



名古屋支部総会の様子

今後の予定

- ・例会: 6月15日(土) 9月21日(土)
(2025年) 2月15日(土) 4月19日(土)
- ・総会: 11月16日(土)
- その他 支部ゴルフ会の再開も検討中

名古屋支部 連絡先

〒466-0812
名古屋市昭和区八事富士見1304
TEL & FAX: 052-834-0607
E-mail: tostrom314@re.commufa.jp



青雲会 ゴルフ同好会

山西 雅人(30期)

<https://www.seiunkai.net/kouryu/golf/index.htm>

ゴルフ同好会は2022年4月、約10年ぶりに再開しました。再開後第4回は2023年9月30日(土)に、第5回は2024年3月23日(土)に、ともに有馬富士カンツリークラブ(兵庫県三田市)にて開催しました。両回では22期から58期の会員の皆さんがプレイを楽しみました。今後も年2回、春と秋に開催する予定です。老若男女、巧拙問わず、皆さんのご参加をお待ちしております。



第4回 参加の皆さん



第5回 参加の皆さん

活躍する卒業生I



本当は面白い大阪市のお仕事

大阪市中央区長 稲嶺 一夫 (30期)

今大阪に関する話題と言えば、「2025大阪関西万博」に関するネガティブ報道ではないでしょうか。「ベタ遅れ会場建設」「施設参加もさっぱり」「協会よ奮起せよ!」とこんな感じですかね。しかしこの見出しは、実は1968年7月7日付の「SUNDAY EXPO」という新聞の記事です。6421万人という空前の入場者数を記録した1970年の「日本万国博覧会」でも開幕前はこんな報道がされていました。せっかくの55年ぶりの大阪での国際博覧会(1990年の「花と緑の博覧会」を入れると35年ぶり)ですので皆様と一緒に何とか機運を盛り上げていきたいと考えております。

さてこれまで何かと世間を騒がせてきた?大阪市ですが、その中で40年以上働いてきた職員としての体験を通して「本当は面白い大阪市のお仕事」をご紹介したいと思います。

私は昭和57年に阪大を卒業し司法試験に挑戦することもなくそのまま大阪市に入りました。これから徐々にバブルに向かうという時期で民間企業も魅力的でしたが、大阪ローカルなところが気に入って大阪市に就職を決めました。

最初の職場は住之江区役所というところで統計調査や選挙関係の仕事でした。昔の役所らしいノンビリとした職場でしたので、民間へ就職した同期が海外で活躍している話を聞くとうらやましく感じたものです。

5年間の区役所生活の後、「土地区画整理事業」を中心にハード系のまちづくりの仕事をする25年ほどさせていただきました。中でも一番印象に残っているのは、USJの開発です。此花区の大規模な工場群を縮小・移転させ映画のテーマパークを誘致するというものでフロリダまでパークのバックヤードツアー視察にも行きました。残念ながら大阪市では出張扱いできなかったため、夏休みを取って手弁当で行きましたが得難い経験でした。

パーク完成後は、図らずも大阪市がUSJに貸している土地の賃料をめぐる増額訴訟を提起するという法学部らしい?仕事もさせていただきました。

そのほか、梅田の「ディアモール」という地下街や区分所有の商業ビルの管理を行っている会社へ出向したりし

て、大阪らしい「賑わいのあるまち」に関わる仕事も経験し楽しいひと時でした。

ところがバブリーな時期は長くは続きませんで、その後の2年間は「あいりん地区」の担当となり併せてホームレスや生活困窮者の自立支援の仕事に就くことになりました。

辞令を持ってあいさつに回りますと、皆さんが「大変やけどがんばりや」と励ましてくれたのを覚えています。

「あいりん」と聞いて皆さんはどんなイメージを持たれるでしょうか。貧困?不衛生?治安が悪い?どれも当てはまりますが、実は行政マンにとっては大変魅力的な街なのです。貧困のトップランナーとして国が施策を立案する際にはしっかり意見を聞いてもらえますし、多くの支援団体も集まっています。あいりんの対策会議で地元の団体を交えた会議に出席するとそのレベルの高さに圧倒され、人は見かけによらないと実感します。

現場仕事の帰りに参加したニッカポッカを着た男性が、司会者から指定された時間内に論旨明快にして理路整然と発言するのを聞いたときは仰天しました。

その後は5年間平野区長を経験し、現在は中央区長として任期満了となる4年目を迎えております。中央区は歴史と文化と人の宝庫です。博物館、城、能楽堂、文楽劇場、日本歌劇団(OSK)、吉本、松竹等々エンターテインメントが満載です。もちろんお食事お買い物も楽しめます。私も65歳になりまして、中央区で大阪市を卒業することになりますが、今後ともこのまちを御最良にさせていただきようお願ひしまして私のお話を終わらせていただきます。ありがとうございました



中央区役所の来庁者や職員に福を持ってこられた今宮戎神社の福娘さんたちと(2024年1月5日)

活躍する卒業生II

チーフ・サステナビリティ・オフィサーとは？

トヨタ自動車株式会社

Chief Sustainability Officer 大塚 友美 (40期)



皆さんの会社や周囲にCSO(チーフ・サステナビリティ・オフィサー)はいらっしゃいますか?「聞いたことが無い」あるいは「最近よく聞けけれど、CEOやCFOと違って何をしているか分からない」という方も多いのではないのでしょうか。今回は比較的新しい役職であるCSOを務めてきた経験を同窓の皆さんに紹介させて頂きたいと思います。

気候変動や働く人の人権問題など社会課題が深刻化する中、社会のサステナビリティ(持続可能性)に貢献することが企業に求められています。同時に、社会のサステナビリティに貢献することが企業のサステナビリティを左右するとも言えます。つまり、社会課題に取り組まない企業は社会から存在を許されなくなってしまいますし、ビジネスチャンスも逃してしまうのです。そこで近年CSOを設置する企業が増えています。実際、この数年間で多くのCSOに会うようになりましたし、CSOを対象とした集まりも国内外で増えました。女性も多く、問題意識を共有していることが多いので、企業や地域を超えた仲間が増えていることを心強く感じています。

CSOの役割は会社によって異なりますが、私はステークホルダー・エンゲージメントを起点にサステナビリティに関する取組を推進しています。具体的には国内外のイベントにおいてトヨタの取組を紹介したり、有識者・投資家・NGOの方々との対話をしています。活動を通じて、トヨタへの理解を深めて頂く一方、更なる期待や批判の声にも真摯に耳を傾け、頂いたご意見をもとに自社の現在地をチェックして、足りていない点に取り組みます。また身近なステークホルダーである従業員とのコミュニケーションにも力を入れています。会社が目指すことについて腹落ちしてもらいながら、その実現に際して現場で困っていることをヒアリングし、解決に動きます。

「CSOというのは大変な仕事ですね!」と時々言われます。確かに気候変動、サーキュラーエコノミー、DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)などテーマは幅広いですし、欧州、北米、日本と地域により異なる動向の把握も必要です。どのテーマも解決には時間がかかりますし、先の見通しも立てにくいいため、どうしたらサステナ

ブルな未来に本当に貢献できるか、途方に暮れることもありました。でも、難しいことではない!と勇気をもらう経験が昨年ありました。

レクサスモデルなどを生産している田原工場に行った時のことです。多様な人が生き生き働く職場実現のために どうしたらよいか、まだまだ数が少ない生産現場で働く女性社員と車座になって話し合いました。私自身も約30年前に事務系職場の総合職一期生として入社し、試行錯誤しながらキャリアを築いてきたので、共感し合うことが多く、初めて会ったのに強い絆を感じました。そして、その帰り際に女性社員の一人が「大塚さんのこれまでの頑張りを私達がちゃんと引き継ぎますよ!」と言ってくれたのです。その瞬間、このように思いと努力を繋いでいくことがサステナビリティだ!と気付き、喜びと温かい気持ちが胸に溢れました。つまり、自分は時を超えた大きなチームの一員であって、次代のために真剣に頑張れば、タスキを繋いでくれる人がいるのだ、と感じたのです。

今はタスキを繋いでくれる仲間のネットワークを社内外に広げていきたいと考えています。サステナブルでない社会や経済の仕組みを変えていくためには、力を合わせて取り組む仲間が一人でも多く必要です。簡単ではありませんが、次代のために頑張る幸せを感じることができるステキな仕事です。



コロンビア大学ビジネススクール主催イベントにてスピーチ
(2024年2月ニューヨーク)

青雲会運営賛助金 ご芳名録

このたびは運営賛助金のご寄付を賜り誠にありがとうございます。

会員の皆様131名の方から、1,752,000円の運営賛助金のご寄付を頂戴致しましたのでご報告致します。

運営賛助金にご理解いただきご寄付を頂いた方々に感謝の意を込め、ここにご芳名を掲載させていただきます。
(掲載を希望されない方につきましては掲載していません。)

心より感謝申し上げますと共に、引続き青雲会活動への温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

青雲会会長 福田 健次

卒期	氏名	卒期	氏名	卒期	氏名	卒期	氏名
旧制I期～新制10期		新制17期	田部 雅晴	新制28期	福間 則博	新制45期	岡田 智充
旧制I期	荒木 豊治郎	新制17期	松本 收司	新制28期	松村 聡	新制45期	上地 浩之
新制2期	小野 夏樹	新制17期	吉川 直樹	新制28期	三成 賢次	新制45期	嶋津 裕介
新制3期	尾池 良行	新制18期	黒田 嘉次郎	新制29期	池尻 和生	新制46期	加々山 敬久
新制4期	中村 英一	新制18期	佐々木 亮	新制29期	江國 清志	新制46期	稲田 正毅
新制5期	魚谷 博	新制18期	竹森 正孝	新制29期	那須 裕之	新制46期	松尾 吉洋
新制5期	的場 悠紀	新制18期	森内 賢一	新制29期	稲葉 一生	新制47期	松田 キミ
新制6期	金出一郎	新制19期	安藤 徹児	新制29期	岩倉 広修	新制47期	坂川 雄一
新制7期	青木 克夫	新制19期	山口 進	新制29期	福田 健次	新制48期	杉山 健志
新制7期	有田 豊	新制20期	千藤 洋三	新制30期	沖田 拓司	新制49期	本宮 亜希子
新制7期	田中 襄二	新制21期～新制30期		新制30期	藤井 修治	新制50期	石野 真岳
新制8期	戸奈 精孝	新制21期	上垣内 康夫	新制30期	三木 章平	新制50期	清水 三沙
新制8期	若林 崇	新制21期	笹山 徹	新制31期～新制40期		新制51期～新制60期	
新制9期	藤原 勲	新制21期	牧野 恒廣	新制31期	嶋谷 泰典	新制54期	向井 大輔
新制9期	山蔭 克己	新制22期	栗岡 利明	新制31期	永田 朗	新制57期	隅田 唯
新制9期	米田 四郎	新制22期	辻田 博子	新制31期	中川 晴夫	新制60期	竹本 桂
新制10期	宇野 次郎	新制22期	山本 茂伸	新制31期	友田 公一	新制61期～	
新制10期	木原 敬介	新制23期	加堂 裕規	新制31期	西田 博昭	新制61期	坂本 大地
新制10期	小泉 靖雄	新制23期	高原 宏幸	新制32期	下村 眞美	新制64期	後友 香
新制10期	小浜 正幸	新制23期	松井 繁幸	新制32期	幸寺 覚	新制67期	堀上 侑紀
新制10期	小林 義亮	新制24期	梅原 保	新制32期	榎本 陽一	新制67(9月卒)期	若林 直子
新制10期	竹川 正英	新制24期	片岡 和行	新制33期	北岡 均	大学院修了(入会)	
新制11期～新制20期		新制24期	鈴木 浩	新制33期	紀藤 正樹	司法14期入会	横道 慶典
新制11期	荒西 宏保	新制25期	明里 一平	新制33期	塩野 隆史	司法18期入会	石橋 寿夫
新制12期	松澤 寛	新制25期	加子 栄一	新制34期	青山 晶彦		
新制13期	藤原 精吾	新制25期	木村 清志	新制36期	下村 富久		
新制13期	山口 勝之	新制25期	常陰 均	新制38期	珍坂 雄一郎		
新制14期	朝田 裕之	新制25期	西尾 公一	新制39期	寺澤 真由美		
新制14期	砂山 擴三郎	新制25期	野澤 敏夫	新制39期	毛利 寛		
新制14期	永渕 弘幸	新制25期	舟引 康之	新制39期	森 優		
新制15期	今城 功勝	新制25期	細井 正弘	新制39期	渡邊 学		
新制15期	岩根 正尚	新制26期	木崎 正	新制41期～新制50期			
新制15期	林 宏中	新制26期	角 隆博	新制41期	岩本 朗		
新制15期	原田 雅男	新制26期	牟禮 正稔	新制43期	川村 慎哉		
新制16期	松井 英樹	新制27期	深川 優一郎				

(敬称略)
2024年3月31日現在

2023年度青雲会行事等報告

月	日	曜	行事等
2023年			
4	3	月	法学部1年生オリエンテーション(於:大阪大学豊中キャンパス) 高等司法研究科1年生オリエンテーション(於:大阪大学豊中キャンパス)
	20	木	第1回幹事会(於:大阪大学豊中キャンパス)
	26	水	2023年度青雲会会報発行
6	6	火	第2回幹事会(於:大阪大学中之島センター)
7	15	土	青雲会総会(於:大阪新阪急ホテル)
	22	土	第78回青雲塾(大阪大学中之島センター) 若手交流会 座談会(於:大阪大学豊中キャンパス)
9	11	月	第3回幹事会(於:大阪大学中之島センター)
	20	水	青雲キャリア支援基金第1回運営委員会(於:大阪大学中之島センター)
	30	土	第4回ゴルフ同好会
10	17	火	青雲懸賞論文募集開始(2024年1月11日締切)
11	7	火	青雲キャリア形成支援講演会(於:大阪大学豊中キャンパス)

月	日	曜	行事等
11	18	土	名古屋支部総会
	22	水	若手交流会 NHK大阪放送局見学会
12	15	金	第4回幹事会・忘年会(於:西梅田「うおまん」)
	16	土	東京支部総会
2024年			
1	17	水	大阪大学文系学部同窓会幹事合同懇談会(於:ガーデンシティクラブ大阪)
2	13	火	第5回幹事会(於:大阪大学中之島センター)
3	2	土	第79回青雲塾(於:大阪大学中之島センター)
	4	月	青雲懸賞論文審査結果発表
	23	土	第5回ゴルフ同好会
	25	月	卒業式・青雲懸賞論文表彰式 青雲キャリアチャレンジ賞表彰式 卒業修了祝賀会

2023年度決算報告と2024年度予算(案)

(概要)

収入の部 (単位:千円)			支出の部 (単位:千円)		
項目	2023年度 決算	2024年度 予算	項目	2023年度 決算	2024年度 予算
会費収入	4,759	5,300	総会費	959	1,114
懇親会収入	562	635	会報費	2,800	2,927
運営賛助金収入	1,752	1,750	ソフト保守費	495	517
その他収入	43	111	支部助成金	350	350
			ローヤリング助成金	100	100
			一般助成金	185	200
			懸賞事業費	372	380
			司法基金援助金	300	300
			塾・部活動費	60	100
			若手交流会	11	20
			人件費	667	700
			その他経費	1,433	1,088
収入計	7,116	7,796	支出計	7,732	7,796
(単位:千円)					
収支差額		△616	0		
前期繰越金		5,103	4,487		
次期繰越金		4,487	4,487		

※本案は総会でご審議いただきます。

青雲会役員

任期:2023年4月1日~2025年3月31日

役職	氏名	期	担当(*:主担)
名誉会長	武田 邦宣		
会長	福田 健次	29期	
副会長	三木 章平	30期	・財務*・青雲懸賞論文*・組織強化(正会員)
副会長	山西 雅人	30期	・青雲塾* 交流促進* キャリア支援*
副会長	西田 博昭	32期	・総会・財務・組織強化(正会員)*
副会長	稲田 正毅	46期	・青雲懸賞論文(審査)・財務・組織強化(正会員)
副会長	坂川 雄一	47期	・若手交流会・総会*
副会長	高橋 慶吉	48期	・総会・青雲塾・若手交流会*
副会長	地神 亮佑	58期	・青雲懸賞論文・WEB管理*・組織強化(準会員)
副会長	千北 慎也	64期	・若手交流会・組織強化(準会員)*・WEB管理
幹事	(各期)		
	うち特に担当を委嘱する幹事		
	西畑 一哉	27期	・懸賞論文審査
	松田 邦夫	28期	・懸賞論文審査
	末澤 豪謙	32期	・懸賞論文審査
	稲田 正毅	46期	・懸賞論文審査
	木村 真也	46期	・懸賞論文審査
	堀木 由紀	46期	・懸賞論文審査
会計監事	西村 元昭	14期	
会計監事	松本 綾	40期	

※副会長は今後増員予定につき確定後総会で報告いたします。

事務局

事務局長	西尾 光代	30期
------	-------	-----

昭和43年入学同期会 開催

令和5年10月21日(土)、ホテル阪急レスパイア大阪において、コロナ禍による古希記念の延期をも含め、前回からは6年振りの同窓会を開催しました。

体調等の理由もあって参加出来なかった人も多く、結果31名の出席者となりましたが、大学卒業後早や半世紀余、気のおけない仲間との久しぶりの再会、歓談でおいに盛りあげられました。

また国連大使を経験された同窓生の神余君によるスピーチを拝聴し、国連改革(安保理改革)における日本の役割及び日本の安全保障について改めて考える機会を得ました。

最後に、参加者お互いの健康を祈念し、次回は喜寿を祝って開催することを約束して散会しました。

石川 栄男(20期)



令和5年10月21日(土)於 ホテル阪急レスパイア大阪

記念事業へのご寄付のお願い

令和6年4月吉日

大阪大学法学部青雲会
会長 福田 健次

拝啓 皆様におかれましてはご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は青雲会の運営に多大なご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年 大阪大学法学部は創立70周年、高等司法研究科は創立20周年、青雲会は創立70周年を迎えますが、これを機に青雲会では大学と協力して記念事業を立ち上げ、最新の録画配信システムを設置した「青雲会70周年記念教室」を設けることとなりました。

賃上げが叫ばれる中ではありますが、街の景気はまだまだの状況下、皆様にご寄付をお願い申し上げることは誠に心苦しくはありますが、私達を育ててくれた母校への恩返し、後輩への支援として皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

また、重ねてではありますが、70周年記念事業への寄付と並んで、令和2年度より開始しました青雲会運営賛助金へのご協力も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

敬具

記念事業へのご寄付について

同封しております「記念事業の寄付金募集に関する趣意書/要領(記念事業について)」をご覧ください。

【お申込み方法】

①同封の大阪大学未来基金の専用の払込取扱票(4連式)をご利用ください。

(払込用紙は切り取らず、4票とも窓口にお出ください。)

●ゆうちょ銀行・郵便局をご利用・・・4連式つづりのうち左の2票にご記入ください。

●金融機関からの振込をご利用・・・4連ともご記入ください。

未来基金プロジェクト名 「青雲教育研究事業(法高青雲会周年事業)」

②未来基金のホームページからの

クレジット決済等も可能です。

(<https://www.miraikikin.osaka-u.ac.jp> の

「ご寄付はこちら」のバナーからお進みください。)

【未来基金の税制上の優遇措置について】(個人のご寄付の場合)
ご入金を確認できた後、2週間から1ヶ月ほどで未来基金事務局より領収書をお送りいたします。

所得税の寄付金控除、住民税の税額控除等の詳細につきましては未来基金のホームページをご覧ください。

<https://www.miraikikin.osaka-u.ac.jp/exemption>



事務局からのお知らせ

「せいうんエンサポ!」について

青雲会では2022年12月に準会員(在学生)向け就職支援の仕組みとして「せいうんエンサポ!」(青雲会 エンプロイメント サポート プロジェクト)を発足させました。

<https://www.seiunkai.net/student/index.html#ensupo>

「せいうんエンサポ!」は、まず在学生の訪問を受けてもよいと考えるOB・OGに名簿に登録いただき、在学生からの要望に応じてOB・OG訪問を実施いただくというものです。

正会員の皆様におかれましては、後輩の就職活動が順調に進められるよう、是非OB・OG名簿に登録くださるようお願いいたします。登録方法の詳細は青雲会事務局までお問い合わせください。

年会費・運営賛助金・総会参加費のクレジットカード払いについて

年会費・運営賛助金・総会参加費につきましては、同封の払込用紙でのお支払いのほか、青雲会ホームページ(<https://www.seiunkai.net>)の「会員専用サイト」でクレジットカード払いもご利用いただけます。振込手数料がかかりませんので是非ご利用ください。

(「会員専用サイト」のご利用には、皆様にお知らせしております個人IDとパスワードが必要です。)